

平成 24 年度

定期監査(工事監査)結果報告書

袋井市監査委員

平成24年度 定期監査(工事監査)結果報告書

1 監査の種類

定期監査(工事監査)

2 監査の期日

平成24年10月23・24日

3 監査の対象

平成24年度 袋井市消防団袋井方面隊第6分団車庫新築工事
浅羽南地区津波避難タワー設置工事

4 監査の方法

監査は、執行されている工事の設計・施工等が適正かつ合理的・効率的に行われているかを主眼として、設計図書、積算、契約、施工管理、工程管理などについて関係書類の審査を行うとともに、工事現場において工程管理及び品質管理、諸材料の出納及びその保管、建設廃材の分別、処分を含めた施工状況や現場の安全管理及びその現場周辺住民等への工事災害防止対策等の実地調査をした。

この監査にあたっては、社団法人大阪技術振興協会に工事技術に係わる調査を委託し、技術士とともに対象工事の実査・立会・確認を行った。

5 監査の結果

設計図書、積算、契約、施工管理、工程管理などの関係書類及び現場の工程管理、品質管理や安全管理、現場周辺住民等への工事災害防止対策等の結果については、おおむね適正に執行されていると認められた。

なお、監査の技術調査における技術士の所見については次のとおりである。

6 技術士の所見

事業目的・背景、工事コスト縮減・環境対策、設計図書・特記仕様書、積算、入札・契約、施工管理・監理・品質管理、現場における施工状況・安全対策等の状況を技術調査した。

(1) 袋井市消防団袋井方面隊第6分団車庫新築工事

ア 関係書類及び現場の施工状況共におおむね良好である。軟弱地盤に対する建物等の支持方法についても、施設の性格上維持管理を容易にするための外装材の選定等、設計段階での事業者との打合せに積極的な意欲が感じられた。

イ 届出書類等は、きめ細かく書類整備が出来ており、施工者の努力が見られる。

ウ 工事の施工にあたっては、事業者・設計者及び監理者・施工者による施工管理体制が緊密に連携されている。

エ 全体工程表又は実施工程表に「作図・製作工程」が併記されておらず、工程管理上のチェックポイントや指標としての情報の共有化に工夫が不足している。

オ 建物のメンテナンスフリー対応については、耐久性・耐候性・止水性等の観点か

らおおむね仕様・材質等に創意工夫が見られる。

カ 現場では、細心の注意を払って仕事が進められており、安全管理・出来映えに施工者の努力の跡が見られる。

キ 併設された調整池と当該施設からの雨水排水処理に関して、計画上の相違点が見られるので調整する方向で検討されたい。

ク エコロジー対策については、状況が許す限り事業に反映させていることが感心できる。

(2) 浅羽南地区津波避難タワー設置工事

ア 関係書類及び現場の施工状況共におおむね良好である。

イ 津波の避難施設としての高さの設定について、安全性が考慮されている。

ウ 現在の進捗状況は約50%で、全体工程上の遅れは見られない。

エ 敷地の形状や特徴を考慮した設計とともに、地域住民への利便性と安全優先、並びにハートビル法の積極的な採用等が図られており、事業者側の熱意が見られる。

オ 届出書類等は、きめ細かい保存書類が整備されており、施工者の努力が見られる。

カ 事業者及び施工者との施工管理に対する連携が堅持されている。

キ 現場では、細心の注意を払って仕事が進められており、無事故無災害であると同時に場内の整理整頓にも気配りが感じられ、施工者の努力の跡が見られる。

ク 出入り口が限られており、幼稚園児や第三者への通路の確保と遮断性が望ましいので、工事関係者の立入り動線をもっと明確にする方が好ましい。

ケ エコロジー対策については、状況が許す限り事業に反映させていることが感心できる。

コ 外周部の枠組み足場を中止し、高所作業車に切り替えることで、作業に機動力を発揮させようと計画する等、施工者としての努力が感じられる。

サ 建物引渡し後には、当該施設の管理方法について、地域住民や浅羽南幼稚園・あさば保育園の関係者とともに慎重に協議を重ね、不用意に部外者が立ち入らないようにする対策を講じる必要がある。

7 監査所見

今回の監査において、技術士から受けた指摘・指導を真摯に受け止め、次のことに留意し、更なる技術の向上を目指し、全庁的に取り組まれない。

(1) これからの建設事業は、公共施設に求められる社会的意義を十分理解し、計画や設計に取り組まれるとともに、さらに市民ニーズの把握に努められたい。

(2) 市民の税金で行われる事業であるとの認識のもと、直接的な工事コストだけでなく将来の維持管理費を含めたコスト削減に引き続き努められたい。

(3) 法令遵守はもとより、現場の安全パトロールの実施・安全教育を徹底し、安全対策に引き続き配慮されたい。

(4) 津波避難タワーについて、建物引渡し後には管理方法を関係者とともに慎重に協議を重ね、不用意に部外者が立ち入らないようにする対策を講じられたい。

(5) 庁内の人材育成や業者の指導・育成に努めるとともに、袋井市の建設業全体のレベルアップに努められたい。

(6) 今回の監査における知識と指摘事項の共有化に努められたい。

工 事 概 要

平成24年度袋井市消防団袋井方面隊第6分団車庫新築工事

工 事 場 所	袋井市太田地内
目 的	駐車場の確保が困難であること及び昭和55年3月に建築された車庫であり老朽化が著しいことから、災害時に迅速な対応が出来るよう地元が要望する場所に移転新築する。併せて、関連するホースタワー及び水防倉庫も移転新築する。
工 期	平成24年6月26日～平成24年12月17日
工 事 概 要	消防団分団車庫 鉄骨造平屋建て 延床面積97.2㎡ 水防倉庫 鉄骨造平屋建て 延床面積25.9㎡ ホースタワー 鉄骨造独立式 高さ13.3m 1基 上記に係る 建築工事 一式 電気設備工事 一式 機械設備工事 一式 外構工事 一式

平成24年度浅羽南地区津波避難タワー設置工事

工 事 場 所	袋井市松原地内
目 的	大規模地震に起因する津波が発生した場合に備えて、津波避難困難地区における新規の一時避難場所の確保対策が必要となっている。この一時避難場所の確保対策事業の一つとして、浅羽南幼稚園やあさば保育園の園児及び近隣住民が避難することを目的に、身近な場所に津波一時避難場所として設置する。
工 期	平成24年7月27日～平成24年12月7日
工 事 概 要	鉄骨造3階建て 屋上避難面積 162㎡ 屋上床高 GL+9.8m (標高12.0m) 階段 2基 スロープ 1基 敷地内コンクリート舗装 299㎡ アスファルト舗装 377㎡ 駐車場整備 10台